

阪神高速事業アドバイザリー会議 〔第19回〕

「2024年度決算報告」

2025年11月19日
阪神高速道路株式会社

1. 2024年度決算概要 ……2
2. 関連事業セグメント別収益 ……9
3. 中期経営計画(2023～2025)における2024年度達成状況 ……11
(阪神高速グループ サステナビリティレポート2025より)

1. 2024年度決算概要

当期連結決算の概要

当社グループの当期の連結業績は、営業収益 **2,605億円**（前年同期比＋77億円）、
営業利益 **21億円**（前年同期比▲19億円）、経常利益 **28億円**（前年同期比▲14億円）、
親会社株主に帰属する当期純利益は **24億円**（前年同期比▲0.8億円）となりました。
事業別の業績等の概要は、次のとおりです。

高速道路事業

- ◆ **料金収入**は1,853億円（前年同期比4.0%増）
※通行台数増加及び近畿圏の新たな高速道路料金の導入による影響等により、前年同期を上回りました。
- ◆ **道路資産完成高**は558億円（前年同期比6.9%増）
- ◆ **道路資産賃借料**は1,355億円（前年同期比3.3%増）
- ◆ **管理費用**は483億円（前年同期比7.9%増）
- ◆ この結果、
営業収益は2,419億円（前年同期比4.6%増）
営業費用は2,410億円（前年同期比5.5%増）
営業利益は9億円（前年同期比65.9%減）
となりました。

受託事業

- ◆ 国や地方公共団体等の委託に基づく道路の新設等の事業を受託したことにより、
営業収益は121億円（前年同期比21.1%減）
営業費用は122億円（前年同期比20.9%減）
- ◆ この結果、**営業損失**は76百万円
（前年同期は営業損失67百万円）となりました。

その他（関連）事業

- ◆ 休憩施設の運営、駐車場施設の運営、道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を展開したことにより、
営業収益は68億円（前年同期比5.6%増）
営業費用は56億円（前年同期比7.5%増）
- ◆ この結果、**営業利益**は11億円
（前年同期比2.5%減）となりました。

1. 2024年度決算概要

高速道路事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

主な増減内容

- 営業収益
 - ・通行台数が増加し、一日当たり約72.6万台（前年同期比1.7%増）
 - ・料金収入は1,853億円（前年同期比70億円増）
 - ・道路資産完成高は、大規模修繕事業等の工事の完成により、前年同期比35億円増の558億円

- 営業費用
 - ・協定に基づく道路資産賃借料は、前年同期比42億円増の1,355億円
 - ・管理費用は、前年同期比35億円増の483億円

区 分		2025年3月期	2024年3月期	増減
営業収益	料金収入	1,853	1,782	+ 70
	道路資産完成高 (注)1	558	522	+ 35
	その他売上	7	7	+ 0
		2,419	2,312	+ 107
営業費用	道路資産賃借料	1,355	1,312	+ 42
	道路資産完成原価 (注)1	571	523	+ 48
	管理費用	483	447	+ 35
		2,410	2,283	+ 126
高速道路事業 営業利益 (注)2		9	29	▲ 19

(注) 1 道路資産完成高とは、完成した道路資産の高速道路機構への引渡額をいい、道路資産完成原価とは、当該道路資産の建設に要した費用をいいます。

(注) 2 高速道路事業の営業利益には、高速道路事業の利益剰余金を活用した、安全対策やサービス高度化に資する事業に伴う損失が含まれております。

1. 2024年度決算概要

関連事業

単位：億円〔単位未満切捨て〕

主な増減内容

区 分		2025年3月期	2024年3月期	増減
受託事業	営業収益	121	154	▲ 32
	営業費用	122	155	▲ 32
	営業利益（▲損失）	▲ 0	▲ 0	▲ 0
その他（事業 （関連）	営業収益	68	64	+ 3
	営業費用	56	52	+ 3
	営業利益	11	12	▲ 0
関連事業 営業利益		11	11	▲ 0

●受託事業

大阪市道高速道路淀川左岸線に係る工事出来高の減等により、
営業収益は
前年同期比32億円減の121億円、
営業費用は
前年同期比32億円減の122億円となり、
営業損失は76百万円
（前年同期は営業損失67百万円）

●その他（関連）事業

休憩施設の運営、駐車場施設の運営、
道路マネジメント事業、事業者支援コンサルティング事業等を展開したことにより、
営業収益は
前年同期比3億円増の68億円、
営業費用は
前年同期比3億円増の56億円となり、
営業利益は11億円
（前年同期比0.3億円の減）

当期連結財務諸表の概要

単位：億円〔単位未満切捨て〕

連結貸借対照表

区 分	2025年3月期	2024年3月期	増減
資産の部	2,983	2,501	+481
流動資産	2,450	1,977	+473
(うち仕掛道路資産)	1,246	1,043	+202
固定資産	532	524	+8
負債の部	2,309	1,875	+433
流動負債	404	474	▲ 70
固定負債	1,905	1,400	+504
純資産の部	673	625	+48
株主資本	657	632	+24
資本金	100	100	-
資本剰余金	105	105	-
利益剰余金	451	427	+24
その他の包括利益累計額	16	▲ 7	+23

連結損益計算書

区 分	2025年3月期	2024年3月期	増減
営業収益	2,605	2,528	+77
営業費用	2,584	2,487	+97
営業利益	21	40	▲ 19
営業外収益	7	1	+5
営業外費用	0	0	▲ 0
経常利益	28	42	▲ 14
特別利益	0	0	+0
特別損失	0	0	+0
税金等調整前当期純利益	27	41	▲ 14
法人税等	3	16	▲ 13
親会社株主に帰属する 当期純利益	24	25	▲ 0

2025年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	上期計
通行台数(台/日) 〔2024年度同期比〕	743,530 〔104.7%〕	728,779 〔103.2%〕	748,205 〔105.7%〕	775,341 〔104.8%〕	759,451 〔106.3%〕	776,852 〔105.7%〕	755,346 〔105.1%〕
料金収入【税抜】 (百万円) 〔2024年度同期比〕	15,661 〔109.1%〕	15,986 〔107.0%〕	15,690 〔104.6%〕	16,763 〔104.1%〕	16,713 〔106.0%〕	16,227 〔104.6%〕	97,091 〔105.9%〕
ETC利用率	97.5%	97.5%	97.6%	97.6%	97.5%	97.7%	—

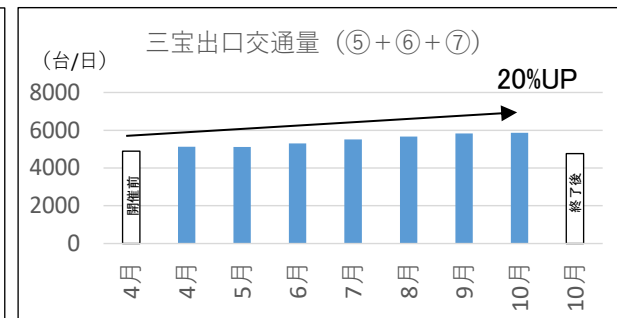
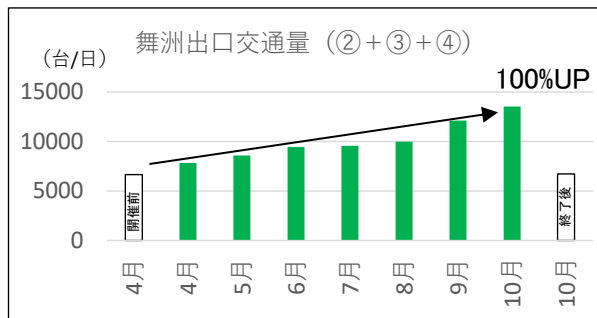
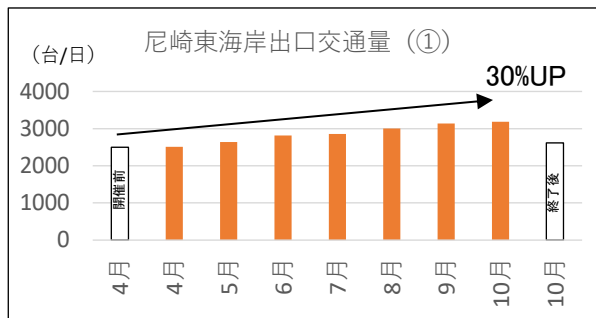
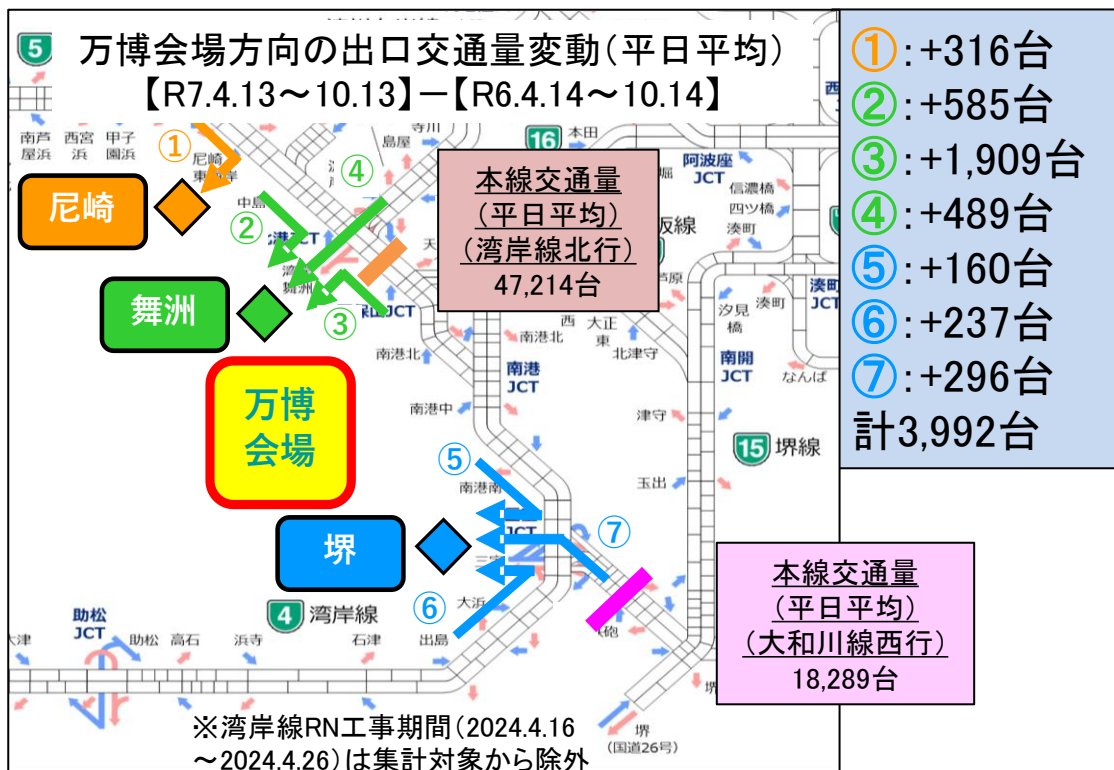
〔通行台数〕
・今年度上半期の通行台数は75.5万台 前年度同期比105.1%となっております。昨年12月の喜連瓜破通行止め工事完了(※1)による影響や、大阪・関西万博の開催(※2)等により通行台数が増加していることが一因となり、前年度同期比は高い伸び率となっております。

〔料金収入〕
・今年度上半期の料金収入は970.9億円 前年度同期比105.9%となっており、通行台数と同様、高い伸び率となっております。
(2024年6月1日 料金改定実施)

(※1) 喜連瓜破通行止め工事期間 2022年6月1日～2024年12月7日
(※2) 大阪・関西万博開催期間 2025年4月13日～2025年10月13日

【特異事象】
2024年度
4月16日～4月26日 4号湾岸線(大浜～泉大津)でリニューアル工事により通行止め
8月27日～9月1日 台風10号の接近により長期間にわたる影響が発生

万博P&R駐車場最寄りの出口交通量は増加が見受けられたが、万博会場周辺出口がある北港JCT付近を先頭とした大きな渋滞が常態化することはなかった。



3. 中期経営計画(2023～2025)における2024年度達成状況 阪神高速

阪神高速グループは、2023年4月に中期経営計画(2023～2025)を策定し、阪神高速グループビジョン2030「6つのありたい姿」ごとに、施策に取り組んでいます。

「6つのありたい姿」と大阪・関西万博に対する取り組み

阪神高速グループ サステナビリティレポート2025より

1 最高の安全と安心を提供する阪神高速

- ◆リニューアルプロジェクトの着実な推進 ◆災害に強い阪神高速
- ◆交通安全対策・良好な走行環境の確保
- ◆より合理的で効率的な維持管理の実施

2024年度実績 / 2025年度目標

死傷事故率	快速走行路面率	橋梁・トンネル・附属物の点検実施率
12.8 / 10.0	97 / 97	100 / 100
件/億台km	%	%



2 もっと便利で快適なドライブラيفを実現する阪神高速

- ◆ネットワーク整備の推進 ◆新しい技術を活用した渋滞対策の推進
- ◆ETC専用化の推進
- ◆お客さまにわかりやすい情報提供と新たなサービスの展開
- ◆パーキングエリアの快適性・利便性の向上

2024年度実績 / 2025年度目標

渋滞損失時間	ETC専用料金所	各PAの提供サービス
1,050 / 870	38 / 110	4.1 / 4.3
万台・時	箇所	箇所程度



3 世界水準の卓越した都市高速道路技術で発展する阪神高速

- ◆大規模プロジェクトなどのハード技術の開発
- ◆シームレスで高度なインフラマネジメントの推進
- ◆将来を見据えた新たな技術の開発
- ◆パーソナライズされた安全・安心・快適なモビリティサービスの実現
- ◆卓越した技術力・ノウハウの強化



注) 構造・デザイン・色彩は現時点の計画であり、今後変更される可能性があります。

4 お客さまや社会に満足をお届けする多彩なビジネスを展開する阪神高速

- ◆関西の発展に向けた多彩な事業の展開
- ◆国際事業の推進

2024年度実績 / 2025年度目標

関連事業の営業収益(連結)	関連事業の営業利益率(連結)
68 / 60	18 / 14
億円	%



5 関西の発展に貢献し、地域・社会から愛され信頼される阪神高速

- ◆社会経済活動の活性化や都市構造の強靱化
- ◆環境経営推進・脱炭素社会への挑戦
- ◆地域との連携・地域社会の活性化
- ◆社会貢献活動

2024年度実績 / 2025年度目標

道路照明のLED化によるCO ₂ 排出削減量
199.0 / 62.2
t-CO ₂



6 経営基盤を確立し、グループ社員がやりがいを実感できる阪神高速

- ◆ステークホルダーの声を反映した経営と信頼性の向上
- ◆働きがいを実感できる働き方改革・ダイバーシティ&インクルージョンの推進

2024年度実績 / 2025年度目標

お客さま総合満足度	女性採用	男性の育休取得率
4.0 / 4.0	3 / 4	81 / 100
(お客さま満足度: 5段階評価)	%	%



大阪・関西万博に貢献し、未来社会を描く阪神高速

交通円滑化への貢献

パーキングエリアでのインバウンド対応などのパーソナルサービス

大阪・関西万博の機運醸成につながる地域のにぎわい創出

新たなプロジェクトへのチャレンジによる価値の創造